

② 「H25緑の防潮堤」 ～今後の対応について～

防風柵が設置されない状況で苗を植えたことにより、一部で生育の遅れや部分的に枯れた状態が確認されました。このため、当該箇所では補植を実施するほか、塩分を含んだ飛砂の堆積を防止するため、法面への防風柵を追加設置します。

◇対応方針

①補植の実施

生育率が概ね50%～30%程度の箇所へ、タブノキを中心とした常緑広葉樹を1平方メートル当たり1～2本程度の植栽を実施します。

②防風柵の追加設置

塩分を含んだ飛砂の堆積を防止するため、防風柵を追加設置します。



台風18号(9.16)通過前 H25.8.5撮影



台風18号(9.16)通過後 H25.10.9撮影
※落葉や葉が変色した苗が多く見られる

